

作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埴田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941

作新学院 軟式野球部

第66回 全国高等学校軟式野球選手権大会

祝 全国制覇

V10



勝利を手にした君たちに栄光あれ



祝・軟式野球全国制覇V10

同窓会会長 安藤 寛樹(昭和45年卒)

作新学院同窓会の皆さん新年おめでとうございます。
一昨年からのコロナが中々収束せず、昨年も大変な年になりました。少しずつ収束の兆しを感じられますがお互い感染に注意し日常生活を送りましょう。

さて、昨年もコロナ禍により同窓会の各種事業が開催できず残念な年が2年も続いています。特に毎年1月に開催しております一大イベント「新成人祝賀会」も一昨年に続き今年も中止せざるを得なく、新成人の方々には申し訳なく思っています。また若手経営者による集い、研修旅行、青年部によるバーベQなど各種行事も中止となり残念な1年となりました。

昨年は一年遅れのオリンピックが開催され、同窓生から5名の選手が出場しました。リオオリンピック水泳で金メダリストに輝いた萩野君は残念ながらメダルは逃しましたが頑張ってもらいました。女子車椅子テニスダブルスでは大谷さん、男子車椅子バスケットでは高松君がそれぞれ銀メダルを獲得し、素晴らしい活躍に皆大変感動しました。

学生達の部活動も少ない大会の中、活躍いただきました硬式野球部では10回連続甲子園出場を果たし、軟式野球部においては全国制覇10回の偉業を達成し、V10は全国最多記録です。他の部活動の活躍も素晴らしく“作新の風”を感じております。

これまで同窓会は部活動を主に支援してきましたが、2年前より“学業支援基金”を設立し、学業支援を始めました。昨年も現役東大合格者を含め、素晴らしい結果を残してくれました。また多くの学生たちがボランティア活動に参加し“文武両道プラス社会貢献活動”と新たな校風を作り出してくれ、同窓会としても嬉しい限りです。母校作新学院の発展の為にしっかりと支援していきたいと思っております。

同窓会は“一校一家の精神”のもと、学院と力を合わせ作新の絆を大切に地域社会発展に寄与したいと思います。今後共皆様方のご協力をお願いし、学院の発展と今年1年が皆様の輝かしい年であることを祈念申し上げます。



コロナ禍を克服して日常を取り戻そう

作新学院 院長 船田 元

先般行われました衆議院議員選挙では、同窓会皆様大変お世話になり、ありがとうございました。お陰様で13回目の当選を果たすことができました。コロナからの復興、分配重視による所得拡大、デジタル化や地球温暖化対策など、待ったなしの課題に全力で取り組んで参ります。

新型コロナ感染症の第5波が長く続きましたが、ようやく落ち着いてきました。感染予防の努力とワクチン接種による一定の集団免疫が形成されたためと思われまます。日本人の勤勉さ、真面目さが反映しているのか、摂取率は先に接種がはじまっていた欧米諸国をほとんど抜き去り、1回目8割、2回目7割強となっています。

しかし接種後8ヶ月経つと粘液力が弱るため、3回目のブースター接種を準備しています。アメリカでも日本でも飲み薬の治療薬が完成しつつあり、まもなく正式に承認されるでしょう。お医者さんの処方によって治療薬が手に入れば、コロナもインフルエンザと同じくらいの感染症になり、怖い病気ではなくなります。ようやく日常生活が戻って参ります。

第5波の途中では、1年遅れの東京オリンピックとパラリンピックが開催されました。今から考えるとあの時期によく開催出来たなと思う一方、アスリートの心情を察するに、開催して本当に良かったと思います。昨年に照準を合わせていたアスリートたちは、何とか1年延期を受け入れましたが、これが2年待つことになると、離脱者は相当な数に上っていたでしょう。

作新学院高校の卒業生はオリンピックで3人、パラリンピックで2人が出場しました。萩野公介

君はスランプを克服して200m個人メドレーで5位、水沼尚輝君は400メドレーリレーで6位(バタフライ)、榎本遼香さんはシンクロ飛び込みで5位となりました。中等部卒業の植崎智重君はスポーツクライミングで4位でした。特に萩野君はこの大会で現役遠引退しました。本当にお疲れ様でした。

パラリンピックでは大谷桃子さんが車椅子テニスのダブルスで銅メダル、高栢義伸君が車椅子バスケットで銀メダルを獲得しました。普段見る機会の少ない車椅子競技の面白さに、ぐいぐい引きこまれました。アスリートたちの活躍は、コロナ禍に苛まれる国民皆認可力を与えたと同様に、卒業生の頑張りに、私たち学院関係者はとても勇気付けられました。

作新学院の教育も既に日常を取り戻していますが、今後の不測の事態や災害に対応して、いつでもオンライン授業に切り替えられる体制を取っています。対面とオンラインを組み合わせ合わせたハイブリッド教育も、視野に入れて準備しています。

問題は人が多く集まる文化祭などの学校行事や、遠方に移動する修学旅行や部活の遠征です。今なお制限が残っていますが、感染予防の様々な工夫をしながら、今後は実施の方向で進めていきたいと思っています。学習もままならず、様々な体験もできなかったという「コロナ世代」を絶対に作らないように、最大限の努力をして参ります。

作新学院高校の同窓会皆様のご健勝を、心からお祈りしております。

学院近景





「超人」たちの夏～ TOKYO2020

作新学院 理事長 畑(船田) 恵

世界中の人々がコロナ禍で傷つき翻弄される今、注目される言葉がある。

「レジリエンス」だ。

レジリエンスとは、「復元力」や「弾性(しなやかさ)」を意味する英語で、元は「外からの力による歪みを跳ね返す力」を表す物理学用語が心理学にも転用され、困難や危機に直面してもポキッと折れてしまわず、逆境からしなやかに立ち直る力として使われるようになった。

野口聡一宇宙飛行士が搭乗した民間宇宙船にも命名されるなど、「レジリエンス」はコロナ時代を生き抜くキーワードとなっている。

そのレジリエンスをこれでもかと体現し、衝撃的とも言える感動と勇気を与えてくれたのが今夏の「東京パラリンピック」だった。それぞれの運命を乗り越え躍動するパラアスリートたちの強靱な肉体、深い精神性、そして透徹した笑顔は、たかが「自粛続き」ごときでグズグズ燻っているわが身にはあまりに眩しく、神々しく、魂が震えた。

過酷な試練から逃げることなく、想像を絶する努力と献身によって、人間の限界を軽やかに超えて行く。そんな彼らを障がい者と呼び、自らを健常者と称する、この社会の厚顔無恥なる通例に疑問を感じながらも、流されてきた自身を心の底から恥じた。

パラアスリートたちにふさわしい呼称、それは障がい者ではなく「超人」。そう思ったのは、きっと私だけではないだろう。彼らに課された人並みはずれて厳しい試練が、むしろ彼らの潜在能力を引き出すとともに全人的な成長を促し、常人から「超人」へと進化させた。

作新学院高校からも東京パラリンピックに出場した卒業生二名が揃ってメダリストとなり、その人間

力を開花させてくれた。

一人は車いすテニスで、グランドスラムを制した世界的プレーヤー大谷桃子選手。

高校時代もテニス部に所属、インターハイ出場を果たし将来を囑望される選手だった。卒業後に服用した薬の影響で車いす生活となるも、まったくへこたれることなく、絶対にできる！と信じる気持ち一つで車いすテニスに取り組み、世界トップクラス選手の一人となった。

もう一人は、車いすバスケットボールの高松義伸選手。高校時代半ばから車いす生活となり、校内の移動はすべてクラスメイトがサポートしていた。とにかく周囲から愛され人を惹きつけて止まない選手で、いつ見ても友達と笑顔に囲まれていた姿を、今も昨日のこのように思い出す。

それにしてもなぜパラアスリートたちは、その過酷な運命に打ちのめされることなく、常に希望を胸に挑戦し続けることができるのだろう。

彼らを見ていて一様に感じるのは、「自分を信じられる」気持ちの強さだ。

自分には価値がある。

自分が存在することには意味がある。

自分はできる！

そう信じられる強い気持ち。

それこそがレジリエンスを生む源泉であることを、パラアスリートたちは教えてくれた。

では、その自分を信じられる気持ちは、どうしたら育まれるのか。その追究こそが、“教育”の根幹であり本質なのだと私は思う。

作新学院がなぜ「愛の学院」なのか、なぜそうあらねばならないのか。コロナのお蔭でやっと分かりかけた気がした、2021年夏であった。

学院近景



同窓生紹介 さまざまな分野で活躍する同窓生!



努力したものは生きてくる

東京パラリンピック車椅子バスケットボール日本代表

高松 義伸 (平成30年卒)

私は、中学3年生の時に骨肉腫という骨の癌になりました。そこから闘病生活を続けながら作新学院に通っていましたが高校2年生の時に再発をして左足の切断を宣告されてしまいました。ですが切断後も変わらずに接してくれた友達に、様々な場面でサポートして下さった先生の支えもあり、楽しく高校生活をする事ができました。

そんな中で高校三年の時には、U23世界選手権に出場することが出来ました。結果は、世界4位で惜しくもメダル獲得は出来ませんでした。そこで新たに自分の中でパラリンピック大会に出場したいという目標が出来ました。そして大学2年の時に、A代表に入る事ができました。そんな中で東京パラ目前にコロナウイルスが流行してしまい、東京パラの一年延期が決まってしまいました。選手大半はマイナスに捉えたと思います。ですが私はチャンスだと思いました。その当時予定通り東京パラが行われていれば、メンバーには入れていないと思っていたので、この一年間をどう過ごすかで東京パラに出場

できるか出来ないかが決まると思います、体育館で練習が出来ないので家の前の道でタイヤを引いて走ったり、庭でドリブルなど体育館が使えない中、様々な工夫をして色々な練習をしてきました。

そしてコロナが明けて代表合宿を重ねて、目標であった東京パラリンピックの12人のメンバーに入ることができました。更には、車椅子バスケット史上初の銀メダル獲得という素晴らしい場面に立ち会うことが出来ました。

作新生のみなさんも、色々な目標がありそれに向かって努力すると思います。ですが必ず叶うとは限りません。でもその中で努力した時間は必ずあります。目先の目標には叶わなかったかもしれませんが、人生は長いです。絶対にその努力したものは生きてきます。なので途中で挫折して諦めたりせずに泥臭くても諦めずに最後までやりきれば、必ずいい方向に向きます。なので作新生の皆さん、諦めずに努力して、夢に向かって人生を楽しんでください。

船田元先生が当選 13回を飾る

同窓会相談役 三村 松司 (昭和35年卒)



作新学院長の船田先生は、在任満了となった昨年10月31日投開票の第49回衆議院議員選挙で、13回目の当選を飾りました。誠におめでとうございます。

選挙戦は、今回再度挑戦となった立憲民主党の渡辺典喜氏、日本維新の会の柏倉祐司氏、日本共産党の青木弘氏の3人の挑戦を受けました。公示直後は、菅前内閣の不人気等もあって「船田苦戦」などの憶測も流れました。

しかし船田先生は、新型コロナウイルスに対する経済対策等を訴え、またこれまで培ってきた強固な後援会組織の支援を基盤に票を固め、緩みを警戒して、これまで以上の組織の引き締めなど万全の体制を維持して、13回目の当選を果たしました。

はじめ先生は、慶応大学大学院に在籍し、作新学院の講師をしていた昭和54年4月に、祖父で二度の衆議院議長や防衛庁長官を歴任した中先生が急逝。この年10月の第35回総選挙に急遽出馬が決まり、若干25歳で初当選を

飾りました。当時は中選挙区制=定員5人=(現在は小選挙区制)で、順位は①渡辺美智雄氏②はじめ先生③森山欽司氏=いずれも自民党=④広瀬秀吉氏⑤稲葉誠一氏=同社会党=。元先生はその後、総務政務次官や文部政務次官=現副大臣=を歴任。平成4年にはそれまでの最年少記録だった田中角栄氏の39歳10か月を抜き、39歳1か月で国務大臣、経済企画庁長官に就任しました。

元先生のライフワークは憲法で、議員の間では船田イコール憲法改正といわれています。私たち同窓会は、元先生が後顧の憂いなく国会活動に全力を打ち込み、さらに念願の憲法改正に邁進できますよう願うばかりです。

現在元先生の衆議院・自民党の役職は、裁判官弾劾裁判所裁判長、自民党消費者問題調査会会長、自民党衆議院議員総会長となりました。



作新学院高等学校同窓会

令和3年度 定時総会

事務局長 天野辰美(昭和45年卒)

令和3年度作新学院高等学校同窓会定時総会は、令和3年6月18日新型コロナウイルス対策に万全を図り出席者を抑え、座席の間隔を十分に空け、マスク着用し、窓を開け換気を行いながら、船田元学院長、塩野谷副学院長、高橋総合進学部長、金田情報科学部長を来賓にお迎えし、同窓会執行役員のほか顧問・相談役・各部の代表者など計34名で作新学院アカデミア・ラボに於いて開催致しました。

安藤篤史総務企画部長の司会進行により、鈴木勲副会長(昭和38年卒)の開会宣言の後の学院歌斉唱では、コロナ対策を念頭に「起立し心の中での学院歌斉唱」となりました。

安藤寛樹会長(昭和45年卒)の主催者あいさつでは、コロナ禍の中で各種事業が未実施となる中「同窓会報第33号」を発売することができ、1,224名の新成人者、1134名の卒業生、そして同窓会役員等へ発送できた喜びと、延期した新成人祝賀会中止の案内はがきを、当時の担任の先生方が一言ずつコメントを加え送ってくれたことへの感謝を伝えました。文武両道社会貢献を掲げる母校作新学院の卒業生から、東京オリンピック・パラリンピック日本代表に5人が選ばれその活躍と、9月に行われる総選挙において、はじめ先生の13回目の当選を目指して同窓会は全力で応援して行きたいと挨拶を締めくくりました。

来賓として出席された船田元学院長の祝辞では、コロナ禍のなかでも学院の運営は順調に行われ、特に昨年はコロナ禍で一時休校となったものの、素早くオンライン授業を構築して速やかに授業を再開したことや、これら

のことが作新学院を受験する生徒たちに安心感を与え、今年の入学者が増えたことのお話がありました。卒業生の東京オリンピック・パラリンピックの選手達には、是非頑張ってもらいたいとし、コロナにより中止という意見も出ているが、ここまで来たらコロナ対策に万全を期し、日本の誇りと威信を内外に示すことが国の使命とし、最後に国会議員としての4年間の実績と、はじめ先生がこれからやらなくてはならないことを挙げられ、当選へ向けた強い思いを示し祝辞を締めくくられました。

議事は、総務企画部の福田裕(平成元年卒)さん、青年部の山形哲也(平成10年卒)さんを議長団に選出し審議に入りました。

- | | |
|-------|-----------------------------|
| 第1号議案 | ・令和2年度事業報告並びに決算について |
| | ・令和2年度基本特別会計報告について |
| 第2号議案 | ・令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について |

第1号～第2号議案まで慎重審議の結果、原案通り承認され、第3号議案 その他で、坂本昭同窓会相談役(昭和31年卒)より第49回衆議院議員総選挙に向け「はじめ先生の同窓会推薦」動議があり、坂本相談役の推薦理由の説明の後、同議案は全会一致で可決承認されました。

定時総会は、小牧英夫副会長(昭和56年卒)の閉会のことばで、恙なく終了しました。



(株)安藤設計(一級建築士事務所)

<http://ando-sekkei.jp/>

代表取締役会長 安藤 英夫(昭和43年卒)
 代表取締役社長 安藤 寛樹(昭和45年卒)
 取締役総務部長 安藤 篤史(平成9年卒)
 宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高 神渡(昭和45年卒)

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

『全国高校野球選手権大会 10大会連続出場を果たして』

硬式野球部 部長 岩嶋 敬一



2011年3月、東日本大震災が発生した年から連続出場が始まりました。3年生が少数のチームでしたが、当時、2年前に31年ぶりの甲子園出場を果たした自信と、前年の決勝

戦敗退の悔しさが重なり、選手たちは想像以上の力を発揮しました。運と勢いに乗ったまま、甲子園でも勝ち進み、まさかのベスト4進出です。宇都宮へ帰ってきた時に、沿道にいたご婦人から「勇気もらったよ！感動をありがとう！」という言葉は今でも忘れられません。その年から快進撃が始まっていくわけですが、指導者側としては“連続出場”という意識はなく、毎回“初出場”を目指している感覚です。しかし、目標値は確実に上がっていきましました。毎年3年生の姿を見ながら、下級生が育っていきます。「少しでも先輩より上に！」「絶対に連覇を止められない！」という選手たちの強い思いがチーム力向上の原動力となり、新しい伝統が築かれていき、それが“全国制覇”に繋がったと思います。10年間で“選手宣誓”や“100回記念大会出場”など様々な経験を積み重ねました。『変化・進化・成長』、『人の想いと繋がり』。勝負では『気・流・運・勢』が大切であることを実感しています。

毎年、多くの皆様方からのご支援とご声援に支えられています。もう感謝の言葉しかありません。特に、応援団、吹奏楽部、チアリーディング部、生徒会、引率の先生方、同窓会、OB会、保護者会等の皆様から送られる大声援は試合中の選手たちを勇気づけてくれると同時に、相手にとっては脅威の存在です。年々バージョンアップされる応援スタイルはまさしく「日本一の応援団」です。今後、作新らしく一体感とテンポのある応援をお願いしたいと思っています。多くの人々から愛され、応援される野球部の継続を念頭に置きながら精進を重ねてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



10回の全国制覇を果たして

軟式野球部 監督 黒川 陽介



第66回全国高等学校軟式野球選手権大会が8月25日から30日まで、兵庫県明石トーカロ球場ほかで開催された。全国大会出場にあたっては栃木県大会、北関東地方大会を勝ち上がり、3年ぶり31

度目(大会最多出場回数)の全国大会出場を果たすことができた。

初回は札幌山の手(北海道)エース小林が115球で完投し、三回の1点を守り抜いて1対0で勝利した。二回戦は能代(秋田)初回、相手エースの立ち上がりを攻め、一挙4得点、七回に追加点をあげ勝利すると共に、エース小林は2試合連続となる完封勝利をあげ5対0で勝利。準決勝の相手は浜田(島根)三回平川のタイムリーで先制、その後も着実に点数を加えて6対0で勝利し、決勝進出を果たした。そして迎えた決勝戦は全国大会3連覇中の最大のライバルである中京(岐阜)全国大会制覇10回を誇る強豪だ。本校は優勝回数9回と、どちらも負けられない戦いが始まった。初回一死三塁のチャンスでヒットエンドランを仕掛け、朴のサードゴロの間に福島が生還して先制。先発エースの小林は相手打線を4安打に押さえ、この1点を守り切り1対0で勝利し日本一となり、優勝回数も10回となり中京と並び最多タイとなった。また、大会史上8回目の快挙となる一回戦から全試合無失点での全国制覇となった。

この大会の出場にあたり、朴主将は、昨年度コロナ禍の影響で全国大会出場が叶わなかった岩本前主将のクラブで戦い続けた。「先輩の分まで戦う」という強い気持ちが勝利への大きな原動力となった。また、新チームも3年生のサポートを受けながら、全国優勝の貴重な経験をいかして栃木県大会、関東大会での優勝を果たし、子供達の日々鍛錬により成長することができ、「年間公式戦無敗」という結果も残し子供達や軟式野球部にとって最高の思い出に残る一年となった。

改めて、日頃より多大なご支援ご指導を賜りました全ての皆様へ、この場をお借りして心から感謝申し上げます。これからも野球競技の発展に尽力し、勇往邁進していきたいと思う。大変お世話になりありがとうございました。



(総合建設業)

中村土建株式会社

代表取締役社長 渡邊 幸雄 [平成4年卒]
宇都宮市大曾4-10-19 tel028-622-6581

仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

代表取締役社長 仲田 陽介 (平成3年卒)

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151

作新学院「二里山会」について

二里山会会長 高橋 光男 (昭和54年卒)



作新学院は今年、創立137周年を迎えます。その長い歴史と伝統ある作新学院を巣立ち、再び母校に戻って奉職した教職員の親睦団体が「二里山会」です。作新学院の前身である下野英学校が県庁東側の二里山(現在の栃木県立図書館付近)に所在していたことに由来し名付けられました。

現在の会員数は、幼稚園から大学短大まで合わせて145名。内訳は、高等学校75名、中等部15名、小学部7名、幼稚園12名、事務局20名、大学短大教職員16名で、作新学院教職員全体の約3分の1に相当する数になります。また、今年度は高等学校

に2名の新会員が加わりました。先生から生徒に、先輩から後輩へと伝統のバトンが着実に受け継がれていることを大変嬉しく思います。

二里山会の主な活動は、年1回開催の「総会」と、ご退職された方の送別会および新加入会員の歓迎会を兼ねた「懇親会」の開催があげられます。普段は他の設置校の方々と親睦を図ることが少ないなかで、二里山会での交流はとても貴重な機会といえます。しかし、コロナ禍で昨年度に続いて今年度も懇親会を開催できなかったことは誠に残念でなりません。

私たち二里山会員は、母校の教壇に立つ者としての責任を胸に、相互の連携を深め、微力ではございますが学院ならびに同窓会の更なる発展に少しでも貢献できればと思っております。

東京作新会の活動

東京作新会会長 君島 孝夫 (昭和40年卒)



作新学院高等学校同窓会のみなさま、新型コロナ渦に負けずお元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。

令和3年は東京オリンピック・パラリンピックに作新学院OB・OGの方々が活躍されました、特に車椅子テニス女子の大谷桃子選手の活躍(銅メダル獲得)、車椅子バスケット男子日本代表の義伸選手の活躍など沢山の感動と元気を頂きました、選手・関係者の方々に御礼を申し上げます。

また船田元先生の裁判官弾刻裁判長のご就任おめでとうございます。益々のご活躍をご祈念申し上げます。

コロナウイルス感染防止のため総会が開催出来ませんでした。4月には東京作新会を開いて、母校作新学院の文武両道の活躍を肴に大いに語り合えることを心待ちにしております。

作新学院の卒業生の方(東京近郊の方)・随時入会をお待ち致しております。「ご連絡を下さい」

| | |
|-----------|----------------|
| 東京作新会 世話人 | |
| 連絡先 君島 孝夫 | ☎0123-57-7811 |
| 相場 啓介 | ☎03-5453-1616 |
| 柿沼 秀毅 | ☎03-5711-8311 |
| 女性部 海藤 政子 | ☎03-3392-7032 |
| 落合 明子 | ☎048-269-2020 |
| 松山 文子 | ☎070-3624-3024 |

(株)本澤建築設計事務所

<http://www.honzawa-net.co.jp/>

代表取締役 本澤 崇 (平成2年卒)

専務取締役 本澤 淳 (平成5年卒)

宇都宮市川田町1223-27 ☎028-645-0607

(有)石川建築構造設計事務所

専務取締役 石川 嵩文 (平成15年卒)

宇都宮市下岡本2507-3 TEL.028-673-6865

<https://www.ishikozo.co.jp/>



(総合建設業)

株式会社 新生工業

代表取締役 櫻井 英治 (昭和57年卒)

宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502



MetLife

ネットライフ生命

宇都宮エイジェンシーオフィス

古谷 祥一 (昭和58年卒) 若目田 有希央 (平成18年卒)

〒320-0026 宇都宮市馬場通り2-1-1NMF 宇都宮ビル9F ☎028-651-2429

作新経済同友会令和4年度

作新経済同友会【未来への挑戦】

作新経済同友会 事務局長 鈴木 勲 (昭和38年卒)

作新経済同友会は、同窓会与連携を取りながら、業種の異なる会員による幅広い交流によって会員相互の親睦と経済的な地位向上を目指して、毎月1回の定例会を実施しております。

今年度は、勉強会として7月例会に宇都宮市の今後の在り方に大きな影響のある基幹公共交通LRT(ライトライン)の車両基地にて市職員による説明と車輛の見学、後走行ルートを車で移動し現況を勉強してまいりました。

また毎年行っている研修旅行は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が解除され収束の兆しが見えてきたので(栃木県10月感染者1日平均6.3人)11月例会として佐野市にある「安藤勇寿少年の日美術館」(昭和45年デザイン科卒)にて作品を鑑賞し安藤勇寿先生と親しく歓談させてもらい先生と記念写真を撮り、昼食は蕎麦 かみやまでおいしい蕎麦を食べ親睦を深めてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言解除から、時を経て時代の変化が急速に進むと思われるなか、昔ながらの伝統を守りながら新しい伝統「未来への挑戦」を作り出す努力をすることにより今後の自分の立ち位置(存在感)が決まります。

実に明るい未来が開ける時代が来たと、同窓会の皆様は手間を惜しまず丁寧な仕事を続けて頂きたいと思っております。

今後の行事は、蕎麦打ち段2経済同友会会員、落合功名人のおそばを味わいながらの「そば談義」を今年度は実施(令和4年2月予定)を見込んでおり会員一同期待をしています。

このような活動を作新経済同友会は行っておりますので、興味ある卒業生の方々は是非事務局までご連絡下さい。



作新学院 親交会

会長 荒井 祥

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

総合建築資材商社

株式会社 白木屋

代表取締役 黒崎 裕康 (平成3年卒)

宇都宮市天神1-1-33 ☎028-633-3327
http://www.shiroki-ya.jp/ FAX 028-633-0792

作新学院高等学校 P・T・A

会長 片柳 二郎

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

(有)川口写真館

代表取締役 川口 修一 (昭和44年卒)

川口 近成 (平成20年卒)

宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

株式会社 コスモ鋼業

代表取締役 遠藤 盛 (昭和58年卒)

宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330
s-endo@cosmo-kogyo.co.jp

宇賀神工業 株式会社

代表取締役 宇賀神 真一 (昭和57年卒)

宇賀神 勇人 (平成22年卒)

鹿沼市千渡1605-88 ☎0289-64-4141
ugajins1@ninus.ocn.ne.jp

軟式野球部OB会活動報告

軟式野球部OB会 監事
同窓会 副会長 櫻井 英治(昭和57年卒)



塩田部長の声掛けより平成22年11月に発足し、枝川(昭和56年卒)初代会長の年代以降にて結成されたOB会も、11年が経過しました。現在470名(OG含め)の会員となり、現役生の活動支援・大会の応援、会員相互の融和・親睦交流を目的として活動しています。

令和2年度卒業生へ3月1日OB会入会と卒業記念品の贈呈。新年度に入り各大会時現地での応援・支援を行った。今年度は全大会に優勝し、優勝旗7旗が作新学院高等学校に勢ぞろい。公式戦全勝・全国制覇! 念願のV10回目達成! とても輝かしい結果となった。

10月16日執行役員会を同窓会館会議室において開催。11月23日には、現役生とOBチーム【国体選出メンバーも加わり】の交流戦を行うなど親睦を深めました。

11月27日、令和3年度定期総会・塩田部長、黒川監督、安藤同窓会長にご出席いただき、全国制覇V10優勝祝賀会を開催しました。

今後とも、現役生への応援・活動支援、OB会員の親睦交流等に際し、ご協力お願いしまして報告とします。

バスケットボール部 OB・OG 会 活動

バスケットボール部「己の会」
幹事 長尾 宏美(平成13年卒)



作新学院女子バスケットボール部では2013年にOB、OG会として『己の会』を発足し、毎年100名を超える己の会を開催していました

が、ここ2年新型コロナウイルスの影響で残念ながら開催出来ていませんでした。ですが、このコロナ禍の中で頑張っている現役生を応援したい気持ちは一つであり、今年は己の会でエコバック、タオルを作り寄付を集め違う形で現役生との繋がりを持ちました。

現役生の活躍は悔しさもありましたが、素晴らしく、三重で行われる予定だった(コロナで中止)国民体育大会には、選手4名、監督として渡邊明美先生、OGである河本久美子がアシスタントコーチとして選ばれ、予選である関東ブロックでは大いに活躍してくれました。

また、渡邊明美先生の教え子であります東京パラリンピック銀メダリストの高松義伸選手が結果報告と共に現役生へエールを送りに来て下さるなど、現役生にとって、またOB、OGも嬉しく誇らしい気持ちです。

『己の会』はどんな時でも寄り添い、エールを送り、現役生からはパワーを貰い心一つに作新学院女子バスケットボールを応援していく所存でございます。

『己を信じ心を繋げ目指せ全員バスケット』



関東自動車(株)

塩田 和也(昭和63年卒)
高梨 義久(平成3年卒)
小島 英将(平成13年卒)

宇都宮市築瀬4丁目25-5 ☎028-634-8131

小林建築設計事務所(一級建築士事務所)

代表 小林 基(昭和48年卒)

宇都宮市宝木町2-944-13 ☎028-652-1770
m-koba@moon.ucatv.ne.jp

今年成人を迎えられる卒業生

トップ英進部
英進部

ご成人おめでとうございます。

名実ともに大人への仲間入りを果たし、新たな人生への第一歩を踏み出された新成人の皆様へ、心からお祝いを申し上げます。また、いかなる時もお子様に対して愛情を持って接し、その成長を見守り続けたご家族の方々に、ご祝詞を申し上げます。

新成人の皆様が、かつてトップ英進部・英進部において、合唱祭や作新祭、英進ウォーキングや修学旅行といった様々な学校行事を通し、友人や教師との絆を育むとともに、「受験は団体戦」を合言葉に切磋琢磨した結果、進路志望の実現を果たしたことを振り返ると、今でも心が熱くなります。

これから皆様が生きていく未来には、希望だけではなく、多くの困難が待ち受けています。新型コロナウイルス感染症による急激な社会の変化、グローバル化が進展する中で緊迫の一途をたどる国際情勢や目まぐるしく推移する国際経済、そして国内では少子・高齢化に伴う人口減少社会など、枚挙に暇がありません。こうした課題を解決していくためには、皆様方の情熱や感性、英知や先見性を備えた行動力が何よりも必要です。母校である作新学院で学んだ力を生かし、どうか困難に挫けることなく、自分らしく歩み続けて下さい。新成人の皆様の洋々たる前途をお祈り申し上げます。

令和元年度 トップ英進部・英進部 第3学年主任 松本洋行・伊藤 繁



令和元年度卒業時の第3学年担任の先生方

株式会社 渡辺工務店

快適ハウス事業部

部長 渡邊良子 (平成4年卒)

〒329-2502 栃木県矢板市下伊佐野7-2
TEL. (0287) 44-0517代 FAX. (0287) 43-9928

福宮建設株式会社 (総合建設業)

専務取締役 福田 裕 (平成4年卒)

宇都宮市鶴田町1462-1 TEL 028-648-7070 (代)

(有)朋友塗装工業 (建築・塗装・吹付工事)

代表取締役 小野 朋之 (昭和61年卒)

宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082
FAX 028-639-7220

相続税専門 相続税のことなら
尾花税務会計事務所

税理士 尾花一浩 (平成元年卒) 税理士 尾花兼司 (平成2年卒)

〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2

ご相談専用ダイヤル ハロー オバナ
0120-806-087



今年成人を迎えられる卒業生

総合
進学部

ご成人おめでとうございます。

新成人の皆さま、成人おめでとうございます。そして、お子様の成長を願い愛情を込めて育ててこられましたご家族の皆様に、心よりお祝いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルスCOVID-19が皆さまの卒業年度に発生し、2020年1月に日本でも確認されました。その後、マスクが店頭から消える、トイレットペーパーの品薄など、思いもよらないことが起こりました。そして、晴れの舞台である卒業式は例年とは異なり、全員を総合体育館から送り出すことができなかったことは、今でも心残りでなりません。さらに新生活を楽しみにしていたところに緊急事態宣言があり、入学式や入社式が実施されなかった人もいるのではないかと思います。あれから2年、苦労ばかりが思い出されるとは思いますが、困難や試練を乗り越えた皆さまは、さらに大きく成長しているはずです。

二十歳という節目のときを迎え、現状を悲観してばかりはいられません。気持ちを新たに、これからの長い人生の設計を立て、このような時だからこそ仲間を大切に、お互い助け合い、前進して行ってほしいと思います。常に周囲への真心と感謝を忘れず、未来を切り開いてください。皆さまのご活躍をご祈念申し上げます。

令和元年度 総合進学部 第3学年主任 羽吉 信夫



令和元年度卒業時の第3学年担任の先生方



産業廃棄物処理 家屋解体工事のことなら

株式会社 ウスイ産業

代表取締役 白井伸太郎 (平成5年卒)

栃木県宇都宮市北若松原2-11-7 TEL 0285-56-8720

Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

代表取締役 伴 誠 (昭和62年卒)

生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)

宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525

電気工事・通信工事・設計施工

中央電機通信株式会社

代表取締役 設楽厚夫 (昭和47年卒)

宇都宮市中戸祭1丁目9番12号 TEL 028-622-9331



HOTEL NEW ITAYA

<http://www.newitaya.com/>

福田 吉信 (平成6年卒) 高橋由起子 (平成19年卒)

白石 希 (平成20年卒) 山崎 滉平 (平成31年卒)

宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511

今年成人を迎えられる卒業生

情報
科学部

ご成人おめでとうございます。

新成人となりました皆さま、成人おめでとうございます。そして、今日まで皆様を愛情込めて育ててこられましたご家族の皆様には、敬意を表するとともに心よりお祝い申し上げます。

皆様が本学院を卒業された2020年は、現在も猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症が日本でも広がりはじめた年でした。そのため卒業式は規模を縮小して行われ、保護者の皆様は卒業式に参列することができませんでした。お子様の晴れ姿を直接見ることができず、寂しい思いをされたことと存じます。皆様が卒業されてからの世界は新型コロナウイルスの影響から大きく変化しました。進学された方も就職された方も大変なご苦労をされていることと思います。しかし、私たち教職員は、成人式を迎えられた皆様が、作新学院で培った人間力でこの厳しい時代を乗り越え、ご活躍されることを信じています。皆様の成長・活躍をずっと応援しています。

最後になりましたが、皆様の前途に幸多きことをご祈念申し上げます。

令和元年度 情報科学部 第3学年主任 手塚紀夫



令和元年度卒業時の第3学年担任の先生方

太平産業開発(株) (太陽光発電事業)

代表取締役 熊倉 正敏 (昭和35年卒)

宇都宮市上小倉町2616-1 ☎028-624-2156

(株)山登塗装工業 (建築・塗装・吹付工事)

取締役会長 酒井 康雄 (昭和43年卒)

代表取締役 酒井 宏泰 (平成8年卒)

宇都宮市砥上町247-4 TEL 028-648-3116

(有)坂本商店 (業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 坂本 昭 (昭和31年卒)

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003

FAX 028-632-9148



割烹弁当の老舗

株式会社 **新三(しんざ)**

代表取締役 鈴木郁夫 (昭和24年卒)

宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

昨年度の進路状況

東京大学1名 一橋大学1名 現役合格

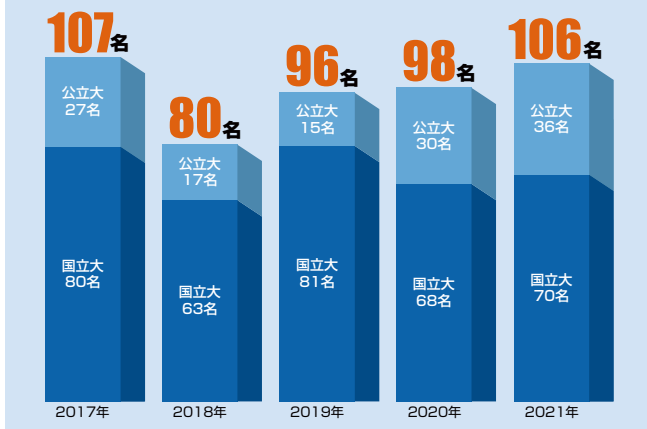
～東北7・筑波3・千葉1・東京学芸3など国公立大学に106名

早稲田・上智・東京理科・GMARCH・関関同立などの難関私大に71名が合格!!

東京農工1名・電気通信2名・宇都宮大に19名合格 医学部医学科に6名が合格

令和2年度の卒業生1,134人の進路の内訳は、4年制大学に512人、短期大学に47人、専門学校(予備校を含む)に348人が進学し、就職・その他は227人であった。進路の割合は、大学や専門学校への進学は80.0%、就職・その他は20.0%であった。

過去5年間の国公立大学の合格実績



令和2年度入試の国公立大学合格者は、106人(国立大学70人<うち現役65人>、公立大学36人<うち現役32人>)であった。主な合格大学としては、東京大学1名・東北大7・筑波大3・千葉大1・東京学芸大3・東京農工大1・電気通信大2・埼玉大3・新潟大2・信州大2・茨城大5・群馬大4・山形大7・福島大6・東京都立大1・横浜市立大1・高崎経済大7・埼玉県立大1などが挙げられる。このうち、東北大学は、理学部4人、工学部1人・経済学部1人がいずれも現役合格を果たした。地元の宇都宮大には、共同教育学部2人・工学部7人・農学部7人の計16人が現役合格を果たした。

一方、私立大学における主な合格大学としては、早稲田大1・上智大5・東京理科大10・立教大5・明治大10・青山学院大10・中央大12・法政大10・学習院大1・立命館大4・関西大3・津田塾大4・東京女子大3・日本女子大2・芝浦工業大13・明治学院大6・日本大47・東洋大11・駒澤大11・専修大12・東海大(医)1・獨協医科大(医)2・埼玉医科大(医)1・岩手医科大(医)2・酪農学園大(獣医)1・東京薬科大(薬)1などが挙げられる。

専門学校への進学は、相変わらず「地元志向」が強く県内への進学率は60%を越え、そして東京、埼玉などの通学圏内の順になっている。外国語など語学分野や動物・ペット関係、ゲームクリエイター等について学びたい生徒が、県外の専門学校を選んでいる。県内のペット関係

の専門学校は数が少ないために早めにエントリーを済ませる傾向がある。また、医療系(看護・歯科衛生、技工・理学療法・放射線・柔道整復など)への進学者が多く、専門的に学ぶことで、将来活かせる資格を取得することを目標に堅実な進路選択をしている。次いで保育、公務員コース、建築設計、美容、調理系などに進学した。将来を見据えた進路を選び合格を果たしている。専門学校は多岐の分野があり、本人の希望だけでなく適性を踏まえて指導することが求められる。男女比では、情報科学はほぼ同じだが、他部は1:2で女子が多いのが特徴的である。

就職に関しては、今年度の求人企業数はコロナ禍の状況においても昨年同様、約1,500社の求人があった。傾向としては、人手不足が深刻化する建設業・運輸業・製造業での求人が多く見られた。この3業種の最前線で活躍できる人材を期待して、高校生の“売り手市場”が続いていると考えられる。また、医療・福祉・自動車整備分野においても深刻な人手不足もまだまだ続いている状況となっている。昨今、就職戦線では「コミュニケーション能力」「仕事に対する意欲」「十分な基礎学力」「面接での表現力」「基本的な生活習慣」などが求められている。

学院では学年ごとにキャリアガイダンス、人事担当者および関係機関(ハローワーク、労政事務所など)による「企業が求める人材、求められる人材」などの就職講話、外部講師による「ビジネスマナー」、卒業生による体験談など、多くのキャリア教育を実施している。これらの取り組みが功を奏し、早い時期に内定率90%を上回り、12月末には内定率100%を達成することができた。

令和2年度卒業生 進路

| 部 | 進路 | 卒業生 | 進路 | | | | |
|--------------|----|------|----------------|-------|---------------|------------------|-----------|
| | | | 4年制大学 進学者実数 | 延べ合格者 | 短期大学 進学者実数 | 専修学校 (予備校を含む) | 就職 その他 |
| トップ英進 英進部 | 男 | 147 | 116 | 277 | 3 | 26 | 2 |
| | 女 | 121 | 99 | 194 | 4 | 16 | 2 |
| | 総数 | 268 | 215 | 471 | 7 | 42 | 4 |
| 総進学部 | 男 | 220 | 147 | 165 | 0 | 51 | 22 |
| | 女 | 214 | 95 | 103 | 28 | 82 | 9 |
| | 総数 | 434 | 242 | 268 | 28 | 133 | 31 |
| 情報学部 | 男 | 259 | 42 | 46 | 0 | 93 | 124 |
| | 女 | 173 | 13 | 14 | 12 | 80 | 68 |
| | 総数 | 432 | 55 | 60 | 12 | 173 | 192 |
| 総計 | 男 | 626 | 305 | 488 | 3 | 170 | 148 |
| | 女 | 508 | 207 | 311 | 44 | 178 | 79 |
| | 総数 | 1134 | 512 | 799 | 47 | 348 | 227 |

運動部 spots

女子バドミントン部

女子バドミントン部

○令和3年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技(富山県高岡市)女子学校対抗第5位・女子個人対抗シングルス／準優勝



舛木さくら

(総合進学部3年)

昨年度は新型コロナウイルスの影響を受けてほとんどの大会が中止となり、卒業生たちは後輩に思いを託して新たなステージへ育っていききました。この思いを託され、自分自身の責任を果たすべく【走れ北信越の大地をと

べ北信越の大空へ】のスローガンのもと、輝け君の汗と涙 北信越総体2021が2年ぶりに開催されました。コロナ禍ということで会場は無観客、勝ち残っている選手と学校対抗メンバーのみが入館を許可される異例の大会となり、会場全てのコートがネット配信されるなどまさに新しい試みで開催された大会でした。

女子学校対抗では15年連続17回目の出場となりました。ジュニア日本代表である舛木さくら(総3)・遠藤美羽(総1)を軸にメンバー全員で第5位という成績を取めることができ、卒業生にも胸を張って報告できる結果でした。しかし、準々決勝の青森山田高(青森県)とは2-3と接戦であり、あと1ゲームさえ取ればインターハイでの学校対抗メダル獲得となっただけに悔しさも残る試合でもありました。

女子個人対抗シングルスでは舛木さくら、遠藤美羽


が出場。1年生の遠藤美羽は体育館の空調にうまく対応できずに2回戦敗退となりましたが、まだ1年生、今後に期待と課題を残したインターハイとなりました。

前年度全国選抜シングルス5位の舛木さくらは空調も物ともせず、ナショナル選手の実力を余すことなく発揮して、選抜の成績を上回る試合内容で見事準決勝に進出しました。

大会最終日、開催地富山県は大雨。体育館の天井から雨音が響き渡る中、準決勝が始まりました。相手は選抜女王の水津選手(山口県)をファイナルゲームの末に突破。自身初の全国決勝に進みました。しかし、身体が限界を迎え、精神的にも厳しくなりストレートで敗退してしまいましたが、2年分の思いを出し切った素晴らしいプレーの連続から会場では拍手で称えられ、最高の思い出とすることができたようです。

次年度に向けて既にスタートしています。下級生は全国選抜に向けて、3年生は将来の夢に向けて。舛木さくらは日本最高峰リーグに在籍してオリンピックを目指します。

今後の彼女たちに期待したいと思います。


 関東ツアーサービス株式会社

外山文昭 (平成11年卒)

宇都宮市築瀬4丁目25-5 ☎028-614-4377



(総合建設業)

末長建設株式会社

代表取締役 末長修一 (昭和57年卒)

宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675

株式会社
  企画装飾
 関正三 (昭和24年卒)

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32
 TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579

日建工業株式会社

代表取締役 吉川泰行 (平成2年卒)

宇都宮市岩曾町179-4 ☎028-625-5021

FAX 028-625-7523

E-mail: yasuyuki@nikken-kogyo.jp

文化部 culture

英語ディベート全国大会「授業部門」で2連覇!!

8月6日(金)・7日(土)の両日に開催された「PDA 全国高校 即興型英語ディベート合宿・大会 2021 (主催: 一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 後援: 文部科学省)」の「授業の部」に、昨年引き続き、本校からトップ英進部2年生2チームが参加し、見事にAチーム(松原和葉さん・齋藤理子さん・中野空樹さん・宮下歩佳さん)が全国優勝、Bチーム(篠田崇仁さん・新崎晴哉さん・伊沢惟乃さん・小村萌華さん)が第3位入賞を果たした。優勝は、昨年に引き続き2度目の2連覇。

全国54校、401名の生徒が参加した今大会もコロナウィルスの影響を受け、Zoomにてリモート開催となった。大会は、論題の発表の後、15分間の準備時間を経て、各スピーカーが、約3分のスピーチをしていく「即興型」の英語ディベート。各チーム1名の帰国子女の参加は認められているが、チーム全体の高度な英語運用力、社会問題に対する幅広い知識と論理構成力、プレゼンテーション能力等広範囲の能力が必要とされる。論題発表後は、メンバー以外との接触、SNS等の使用も禁じられ、正に、それまで培った総合力が試される。

参加した作新2チーム8名は、学内のアカデミアラボから配信、全国の強豪校と競った。準決勝で惜しくも同校対決となったものの、激闘が繰り広げられた。

決勝は札幌聖心女子学院高等学校 Aチームと作新Aチー

ムの対戦となり、3対0(3人のジャッジが全て本校に投票)で作新Aチームの勝利となった。

個人でも、篠田崇仁さんと齋藤理子さんが高い質疑力を評価され、ベストPOI賞を獲得。全国レベルで活躍する他校生との交流を通して、大いに成長し、自信を胸にすることができた体験となった。

[出題された論題]

論題(毎回ディベート開始15分前にはじめて発表される):

- 論題 1: Cosmetic surgery should be banned.
(美容整形を禁止すべきである。)
- 論題 2: It is better to be single for life than to have a family.
(家族を持つより、生涯独身を遂げた方がよい。)
- 論題 3: China should abolish its restriction on the number of births.
(中国の出産数制限は撤廃すべきである。)
- 論題 4: Vaccination against COVID-19 should become mandatory.
(新型コロナウイルスのワクチン接種は、強制とすべきである。)
- 論題 5: Male employees should be forced to take parental leave.
(男性の育児休暇取得を強制すべきである。)
- 論題 6: School rule regarding appearances should be abolished.
(外見に関する校則は撤廃すべきである。)
- 論題 7: The Tokyo Olympics should have been cancelled.
(オリンピックは中止すべきであった。)
- 論題 8: Teleworking makes people happy.
(テレワークは人々を幸せにする。)



Zoomを通して全国の強豪校と対戦



優勝したAチーム



準優勝のBチーム

(総合建設業)
芳賀屋建設株式会社
代表取締役 関 明彦 (昭和61年卒)
宇都宮市築瀬 4-12-28 TEL 028-638-2000

NETIS登録
KT-100005 防草緑化挿し芽植栽工法
株式会社 落合東光園
代表取締役 落合 功 (昭和37年卒)
事務所/河内郡上三川町中子921 ☎0285-56-3751

総合建設業
株式会社 鱒淵建設
代表取締役 鱒淵 孝男
取締役 鱒淵 智行 (平成11年卒)
建築部 小牧 英夫 (昭和56年卒)
宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261

有限会社 マルワガラス
MARUWA GLASS
代表取締役 薄井 和英 (昭和55年卒)
宇都宮市御幸ヶ原町155-2 TEL (028) 613-2025 FAX (028) 663-8411

「現役東大合格者」への記念品贈呈

令和3年3月18日(木)、県教育会館で開催されたトップ英進・英進部の全体集会において、東京大学理科一類へ現役合格を果たした山口悠さんに対して、同窓会から記念品が贈られた。

贈呈式が開催されたのは、3人の現役東大合格者を対象に行われた平成31年に次いで2度目。渡邊幸雄副会長・天野辰美事務局長によって記念品が贈られ、渡邊副会長からは「県内トップ校と肩を並べる作新学院の大学合格実績に対し、卒業生として大変嬉しく、また誇らしく思います。また来年もこの場を訪ねられるよう、後輩の皆さんも頑張ってください」というご挨拶を頂戴した。

続いて山口さんからも「これまで多くの先生方に学習・進路指導をいただき、今回の成果に結びつけることができ

ました。また、研究の成果を発表する機会がたくさんあることも作新学院の魅力でした。後輩の皆さんもぜひ目標を達成できるよう祈っています」といった話があり、「先輩から後輩へと続く頑張りの襷リレー」を皆で噛み締める贈呈式となった。



第5回 親睦ゴルフコンペの開催について



令和3年11月25日(木) 広報部主催により、「第5回親睦ゴルフコンペ」を日光市光徳の鬼怒川カントリークラブにて開催しました。秋の色が深まる日光連山を背景に天候にも恵まれた中、安藤寛樹会長をはじめとして総勢35名の同窓生が参加し、日頃のゴルフの腕前を競い合いました。

プレー終了後、同会場にて表彰式を兼ねた懇親会を開催しました。パーティーは、渡邊副会長の司会進行で始まり安藤会長があいさつの中で、オリ

作新学院高等学校同窓会 広報部 中島一晴(平成5年卒)

ピック・パラリンピックでの同窓生の活躍を紹介された。表彰式では入賞者にはその成績をたたえ、たくさんの豪華賞品が授与されました。

腕に自信のある方はもちろん、ゴルフが得意でない方も気軽に参加でき、先輩や後輩、同級生と同じ作新学院同窓生として交流を深めることができます。次回は更に参加者を増やして開催したいと思いますので、たくさんの作新学院同窓生の友人知人をお誘いあわせのうえ、ご参加をお願いしたいと思います。

結果

優勝：前田 貴之 さん(平成9年卒)
 2位：高梨 義久 さん(平成3年卒)
 3位：遠藤 盛 さん(昭和58年卒)
 ベスグロ：高橋 順也 さん スコアー80
 女性の部 優勝：安藤 敏子さん

同窓会組織(執行役員)

会長 安藤 寛樹(昭和45年卒)
 副会長 鈴木 勲(昭和38年卒)
 // 吉高神 渡(昭和45年卒)
 // 渡邊 毅(昭和50年卒)
 // 高橋 光男(昭和54年卒)
 // 小牧 英夫(昭和56年卒)
 // 櫻井 英治(昭和57年卒)
 // 渡邊 幸雄(平成4年卒)

事務局 長 天野 辰美(昭和45年卒)
 総務企画部 部長 安藤 篤史(平成10年卒)
 組織財政部 部長 本澤 崇(平成2年卒)
 広報部 部長 黒崎 裕康(平成3年卒)
 文化厚生部 部長 古谷 祥一(昭和58年卒)
 青年部 部長 石川 嵩文(平成15年卒)